

2025年10月11日 BM子どもネット研究会 セッション3 テーマ交流会(企画要旨)

第2回継承言語としてのスペイン語の集い

企画者:高橋 悅子(特定非営利活動法人日本ペルー共生協会)

共同企画者:ロシオ ルケ カセレス(ヤチャイ)

共同企画者:フロール デ マリア(AJAPE)

交流会で話し合いたいテーマ:

日本国内で継承言語教育としてのスペイン語教室を開催している団体、教師に声をかけてスペイン語で意見交換会を行う。(使用言語スペイン語、通訳なし)

前半:昨年度の発表の確認

昨年度の交流会で話し合われたものは各団体の所在地、活動内容、困難を感じている点。

発表者と団体は以下の5グループであった。愛知県(金箱亜希-Libreo)、静岡県(ロシオ ルケ-Yachay)、(滝口ビルマ-スペイン語教室)、神奈川県2(ミゲル オリーボス--センター川崎スクールネット)、(矢崎フローレス-AJAPE継承スペイン語教室)。

最後に神田外語大学のベリ先生より継承語は親子をつなぐとても大切なツールである。それを理解してもらうためには幼い時より保護者から子どもへのアプローチが欠かすことができないとのコメントをいただいた。

本年度は事前にグループ紹介のシートを記入して提出し参加者で共有。昨年度より新たに参加したグループの自己紹介。

- 1) グループの特徴 (グループの代表者、活動の地域・場所、活動日、教員数、生徒数、クラスの数、指導内容、使用している教材)
- 2) アピールしたい点
- 3) 課題
- 4) 皆に提案したいこと

後半:前半のグループ紹介をふまえそれぞれのグループへの質疑、応答

皆がシェアできる情報の共有

スペイン語継承語の専門家(交渉中)によるコメント、アドバイス

テーマ交流会呼びかけ文

BMCNでは子どもの言語の発達に関してさまざまなテーマで活動を続けて続けています。海外においては継承言語としての日本語教育、それを日本国内の外国にルーツのある子どもにあてはめるとそれぞれの子ども達の母語教育になります。私たちは日本国内で継承言語としてのスペイン語教育を開催している人たちに声をかけ意見交換会を行います。継承語の継続は指導内容や母国情報はもちろんのこと場所、指導者、教材、運営資金と課題がたくさんあります。この会はBMCNの年次大会の際交流会の時間に集まり情報交換します。周りにいるスペイン語話者で継承言語のスペイン語教育に興味を持っている人には是非声をかけてください。また、今後スペイン語だけではなくポルトガル語、中国語、タガログ語、ベトナム語等々の人たちもそれぞれの言語で集まることができますことを願っています。